

村山ひでき

市政レポート

ひとをつなぐ まちをつくる

村山ひできの決意

2005年に市議会議員に初当選し2期8年間、小金井市政の様々な課題解決に取り組んできました(裏面参照)。前回の選挙で落選してからは心機一転、地元のケーブルテレビ局に勤務。毎日、サラリーマンとして通勤し、働く者の目線から政治を見つめることができたのは得難い貴重な体験となりました。一方で、市政に対してサラリーマンだからこそ感じる疑問があったのも事実です。JR 中央線の沿線にあり、緑も多い文教都市である小金井市の潜在能力から考えれば小金井市はもっと「住みたいまち」になってしかるべきです。他市では30年前に解決している課題が小金井市では先送りされてきた現実があります。私だからできることがある—今こそ市政を前へ進めます。



ひとをつなぐ まちをつくる 小金井プラン

—ハードからソフトへ— (施設の整備から中身の充実へ)

1 市役所庁舎問題の早期解決

すっかり政治問題化してしまった庁舎建設は市政の長年の課題です。早く決着させて市民サービスの充実に財源を振り分けるべき。「**新庁舎と新福祉会館は2021年度の竣工を目指す**」と示した西岡市長の方針を支持します。

3 子育て環境日本一 住みたいと思うまちへ

西岡市長の掲げる「子育て環境日本一の小金井」をともに目指します。保育園待機児ゼロの早期実現(0~2歳児対策強化)に努めます。また、先輩ママによる**ホームスタート**やパパも参加しての子育て交流会実施で子育ての不安解消を図りつつ、地域コミュニティを活性化させます。



常に政治活動をともにしてきた西岡市長を支えます

2 「はけ」の都道計画の見直しを!

小金井の貴重な財産である「はけ」(国分寺崖線)を横切ってしまう都市計画道路(都道)の整備計画は、昨年末に事業化見直しを求める8603人分の署名が集まり東京都に提出されました。**特に東西ラインの3・4・1号線の必要性は疑問**であり見直しを求めます。

4 健康長寿・住み続けたいまちへ

認知症対策、障がい者の自立支援の一つとして、空き家等を利用した**グループホーム**を増設し、また、圏域外施設も含めた**特養ホーム**も増設させます。

5 商業振興・住んで楽しいまちへ

武蔵小金井南口再開発や東小金井駅北口区画整理事業など「まちづくり」が進展した今だからこそ「ソフト(中身)の充実」が必要です。商店会・商工会と連携した商店活性化策を打ち出します。

6 議会改革 真の民意を反映する議会へ

深夜まで審議することが多い小金井市議会。市役所職員は議員から要求される膨大な資料の作成に追われ、最優先で行うべき市民サービスに関する業務が削られてしまっています。開かれすぎた民主主義は決定を遅らせ、かえって市民の求めるところから乖離します。審議は十分に確保しつつも効率的な議会運営ができるよう提案します。

市議2期8年 村山ひできの実績を紹介します

まちづくり

●武蔵小金井駅南口再開発と東小金井駅北口区画整理の推進

特に市民交流センターの購入の是非をめぐって平成22年後半の市議会は大紛糾。所管していた総務企画委員会の副委員長として、延べ230時間超の難航した議会審議を調整し取得へ導きました。現在の「宮地楽器ホール」は予約がとれないと苦情がでるくらいの人気施設となっています。

●新庁舎建設計画の推進

小金井市で行われる選挙のたびに争点となっていた庁舎問題を解決させるべく庁舎建設特別委員会委員長として市民検討委員会の答申を受けジャノメ跡地への新庁舎建設を推進。ただし、村山が落選後、建設費の高騰による財源不足を理由に計画は白紙となってしまいました。

●議員提案による食育推進条例の策定

平成22年に超党派21名の市議会議員による「食育推進議員懇談会」が発足し、村山ひできが事務局長に就任。「食育」を通じて市内の関係団体が連携し、まちづくりを進める目的で提案した条例は平成25年3月には他党派議員の協力をいただきながら賛成多数で可決しました。



科学の祭典の出展ブースにて子ども達に薬害の危険性を訴える



小金井新能写真展にて



小金井青年会議所(JC)メンバーとともに清掃活動

環境

●「名勝 小金井(サクラ)」のヤマザクラ並木の復活

かつて「小金井千本桜」と謳われた江戸の名所を復活させるべく一般質問で計4回にわたり主張。結果、平成23年度から小金井市は「玉川上水・小金井桜整備活用計画」を策定し小金井桜の補植と雑木の伐採がスタートしました。

安心安全

●他自治体との災害協定の締結

平成19年9月に本会議で提案。その後、東日本大震災の教訓をもとに、小金井市は平成24年になって岩手県北上市、長野県飯田市、福岡県宗像市の3市と災害時相互応援に関する協定書を締結しています。

●「ふれあいメロディー」の実現

夕方に時刻を知らせ地域の防犯を呼びかけるため防災行政無線を使用することを、いち早く平成17年10月の決算特別委員会で提案。「ふれあいメロディー」として実現し、夕方になると音楽がまちに流れるようになりました。

子育て・子育て

●待機児童ゼロへ駅前保育

平成20年6月の駅周辺整備調査特別委員会において、再開発や庁舎建設を進めるなかで駅前での保育施設の検討することを求めました。平成22年に武蔵小金井駅南口JRビルに「にじいろ保育園」、北口ムサコ通りに「アスクむさし小金井」が開設されました。

その他にも…

- 使い勝手が悪かった国民健康保険被保険者証のカード化を実施。
- 名誉市民条例の制定を一般質問で提案。星野哲郎(作曲家)さん、宮崎駿(映画監督・漫画家)さんが名誉市民第1号に就任。

村山ひでき【プロフィール】

- 1971年 新潟県南魚沼郡湯沢町生まれ
- 1990年 新潟県立長岡高等学校 卒業
- 1995年 明治大学政治経済学部政治学科 卒業
- 1995年 衆議院議員の私設・公設秘書として活動
- 2005年 小金井市議会議員選挙に初当選(2009 再選)
- 2013年 市議会議員選挙に落選し(株)ジェイコム東京(小金井市梶野町)に入社フルタイムのサラリーマンとして勤務
- 2016年10月 ジェイコムを退社、小金井市政を前へ進めるべく再起

《主な地域活動》

小金井阿波おどり振興協議会 専任幹事
 阿波おどり大会実行委員会 副事務局長
 小金井新能 理事
 小金井新能実行委員会 警備委員長
 小金井市献血推進協議会 事務局長
 小金井市トライアスロン連合 事務局長
 子ども達を薬害から守る実行委員会 事務局
 明治大学校友会小金井地域支部 幹事
 名勝 小金井桜の会 会員
 小金井青年会議所シニアクラブ 会員
 はげの自然を大切にする会 会員
 小金井市倫理法人会 幹事

通常号 定価1部100円(消費税込み) 年間購読料 3,000円(送料含む)

号外 2017年 1月25日

民進党 民進プレス編集部
 〒100-0014 東京都千代田区永田町1-11-1
 電話 03-3595-9988(代表)
 メール press@minshin.or.jp
 URL https://www.minshin.jp

《村山ひでき事務所》
 〒184-0004 小金井市本町1-5-1アルブ小金井201

電話 042-386-5543
 FAX 042-386-5560
 Eメール hideki@murayama.tv
 WEBサイト http://www.murayama.tv